



アクテノン

NO.106

名古屋市演劇練習館機関紙

ワッセイ

「還暦オヤジの極私的舞台36年史」



1984年、大学を出ても就職できず高校の非常勤講師をやりながらブラブラしていた僕が「舞台美術ができる人を探してる」と友人に誘われたのが「じゆうぶたい鶴舞座」でした。

四間四方の半地下のホールに客席も含めて作る舞台で、見よう見まねで教えてもらいながら旅館から海に浮かぶヨットへ転換する舞台を作りました。それが舞台を仕事とした初めです。秋元松代氏作「アディオス号の歌」でした。

鶴舞座の屋根裏部屋に居候しながら七ツ寺共同スタジオでの小劇場劇団の仕事も頼まれるようになりました。初めは照明でした。まだ6本や8本のフェーダーを手で上げ下げする調光器(ディムパック)の時代です。照明をやりながら美術もやらせてもらうようになり、舞台監督も引き受けるようになります。劇団WAY-夢、てんぶくプロ、劇団・夏蝶、ヴィ/コレクション、サクラガサイタブロデュース、劇団B級遊撃隊等。劇場は名演小劇場等にも広がっていきます。

1989年白川公園で開催されたNAGOYA演劇遊戯祭は当時の小劇場劇団が集結しテントやその他の場所で一斉に行われました。翌1990年、名古屋都市演劇遊戯祭として維新派の松本雄吉氏を招き、丸太で劇場を造るところから始まったのです。合同企画として「虎〜ハリマオ」を松本氏が美術プラン、井上が製作しました。その時期三度の台風に襲われ劇人総出で自分たちの劇場「TANK」を雨に濡れ泥にまみれながら倒れないよう支えていたことは、公演の中身は記憶に無くても体が覚えています。

1995年名古屋市文化振興事業団主催音楽劇「三文オペラ」に小道具として参加。美術家の要望で針金

井上 知也 (舞台監督、舞台美術)

の電球ガードを大量に買い漁り、結果翌週からホームセンターにその品がやたらと増えていた。これ以降事業団主催のミュージカルやオペラに不定期に参加していきます。

平成8年度第12回芸術創造賞(舞台装置)をいただく。これが舞台美術人生のピークとなる(笑)。

2000年東海豪雨の年、自分の作、演出、美術で「さいごのおかみ」公演。この後現空宙空地の関戸哲也氏に「次は君を主演に芝居を創る」と約束。20年経った今も果たされていない(涙)。

現在も劇団アルクシアター、TAKE TO YOU、劇団あおきりみかん、メリー・アーティスト・カンパニー等や、落語、狂言等の舞台監督、美術、小道具などやっています。蒲郡まつりでのミュージカルは25年を越えました。

ただただ長くダラダラやってる中でわかったことは、あたりまえだけれど舞台は独りでは出来ないってこと。舞台は人と人が集まり、向かい合い、触れ合いながら創っていくも。キャストとスタッフと観客がいて初めて完成するってことです。

【写真について】

劇工房劇社「深川安楽亭」でかつらをかぶって舞台監督やりました(笑)。

劇団WAY-夢「謎の男コンスタンチン王子」裏を抜いた冷蔵庫を何台も積み重ねてアパートにしました。当時としてはけっこう画期的な装置ではなかったかと。右端に劇団アルクシアターの弥富又八氏が。「秋日和」たぶん芸術創造賞の対象のひとつ。火田註子さんとはせひろいち氏、宮島千栄さんの三人芝居。



劇団WAY-夢 第七回公演
「謎の男コンスタンチン王子」
'87年1月15日〜18日
七ツ寺共同スタジオにて



名古屋市文化基金事業・
第11回名古屋文化振興賞入選作品
「秋日和」
'96年3月8日〜10日
西文化小劇場にて

トピックス

「芝居のない人生は考えられない」～第1回 アクテノン記念 江崎演劇賞を受賞して～

小嶋 彩子 (女優)



「えっ、私が？」と思いました。社会や時代と格闘する女性を描いた舞台や一人芝居で多くの演劇賞を受賞、アクテノンの運営や中村区の文化の振興に尽力された女優江崎順子さん。その遺志を受け継ぐ為に演劇賞が設けられる事は知っていました。でもまさかその第1回の受賞者に選んで頂けるなんて夢にも思っていませんでした。

自分には無理と封じ込めていた舞台への憧れ、やってダメなら諦めようとA&Aアカデミーというタレント養成所の門を叩き、始めた演劇の勉強。楽しくて仕方なかった週1回のレッスン、会場はアクテノンでした。それから表現の世界に魅せられ続けて23年、様々な方との出会いに恵まれ舞台に立たせて頂き、この間もずっとアクテノンです。

遠山事務所や名古屋市文化振興事業団のミュージカルの稽古、三味線やサクソ、歌の稽古の為に個人で使わせてもらったり、役者で有り続ける為に不可欠な「ボイスファクトリーすにい」のレッスン

では月2回アクテノンに通っています。私の演劇生活になくはないアクテノンと上述のすばらしい女優江崎さんの名前を冠した演劇賞を頂けた、こんな嬉しいことはありません。江崎さんと一度だけ共演させて頂けた事も合わせて「ご縁」を感じずにはいられません。

世の中はコロナウイルスの蔓延で大変な状態です。演劇界も然り。人が集まって創る芝居、沢山の人に観に来てもらう舞台、今は耐えなくてはならないですね。1日も早く日常に戻る様、自覚と周りの人を気遣う気持ちを持って行動したい。家での自分の時間が増えた事で改めて思いました「芝居のない人生は考えられないなあ」と。そしてこの受賞に励まされています。舞台に立つ事を夢見て、演劇のレッスンが楽しくて仕方なかった頃の気持ちを忘れず、今までやってきた事を大切にずっと続けていきたい。初心忘るべからず、継続は力なり。アクテノンの皆様、そして江崎さん、これからもよろしくお祈りします。



遠山事務所公演
「飢餓海峡」
'19年10月25日〜27日
芸術創造センターにて

アクテノン・シャワー

■ 第1回アクテノン記念 江崎演劇賞受賞者決定のお知らせ



受賞者 小嶋 彩子



〈略歴〉

'97年A&Aアカデミーにて演劇を学ぶ。'01年から出演を続けている遠山事務所公演では「いのちぼうにふろう」「どん底」「道」「飢餓海峡」等多数の主演を務める。'12年～'15年には劇団スイセイミュージカルの全国ツアー公演に「楽園」他3作品で参加し、商業演劇にも進出を果たす。

また名古屋市文化振興事業団のミュージカルに'16年「ザ・ミュージックマン」等5作品に出演。そのほか「時代横町」「戦争を語り継ぐ演劇公演」等、出演の幅を広げ活躍中である。

故江崎順子氏のお兄様から
コメントをいただきました。

妹の遺産をこのような形で有効に生かしていただき有難うございました。妹も泉下にて喜んでいいることと思います。

第1回受賞者として劇団エーアンドエーダッシュ所属の小嶋彩子さんが選ばれたとのこと、おめでとうございます。

妹は、女性の生き方を描いた作品を多く取り上げていました。妹の遺志を継いで、そのような作品を今後も取り上げていただければと思います。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

演劇 劇団さらすば!



50代から20代まで幅広い年齢層が売り。今年3月の公演を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するために公演延期を決定。延期公演は来年3月を予定しています。

劇団名の由来はインドの女神サラスバティ。蓮華の花に座り、左手に本、右手に数珠、第三の手で琵琶、第四の手には縄を持つ演劇の神様。そんな女神様の力を借りて、素敵な舞台を作りたい!その舞台は役者が自らをさらす場、そして時には観る人の心もさらす場にしたい!そんな願いを込めて…「劇団さらすば!」

アクテノンに一言 小道具や音響機材の貸し出し、稽古に使う道具を置けるスペース、良心的な値段。アクテノンのおかげで舞台作りができます。本当に感謝しています。ありがとうございます!

- ①2004年 ②12名
 - ③「ザ・キャラクター」/ナピロフト('13年)「オイル」/セツ寺共同スタジオ('06年)
 - ④矢田 宏晃
- HP:<https://r.goope.jp/sarasuva>

演劇 KPB Theatre



2012年に発足以来、プロデューサー及び作曲家のStephen Pottingerと、KPB座付き作家のGary Beaubouefによるオリジナル作品を上演し続けています。2年に1度のオリジナルミュージカルでは常に1,000人以上の観客を動員し、好評を博しています。劇団員は多国籍で上演作品は英語をメインとし、日本語字幕を提供しています。

次回公演は2020年11月『DRUM TOWN GIRLS』昭和文化小劇場にて。ぜひ劇場へお越しください。

アクテノンに一言 いつも大変お世話になっております。アクテノンのような「演劇のための稽古場」があって、本当にありがたく思っています。特に5Fのリハ室は素晴らしいです。これからも宜しくお願いいたします。

- ①2012年 ②28名
 - ③「Gerry in the Attic/ジェリー」/千種文化小劇場('18年)「The Boxer/ボクサー」/シアタームーン('17年)「Jukebox Paradise/ジュークボックスパラダイス」/千種文化小劇場('16年)
 - ④Stephen Pottinger
- HP:<https://www.kpbtheatre.com>

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。

①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

※新型コロナウイルス感染拡大防止等の為、公演が変更になる場合があります。

※詳細は劇団へお尋ね下さい。

BamBoo Jr.

『The wizard of OZ』

- ① 名古屋市天白文化小劇場
- ② 8月23日(日) 15:00
- ③ 1,000円
- ④ <https://theaterbamboo.com>

はじめてのBamBoo Jr. 単独公演!名作オズの魔法使いを少しアレンジして、お届けします!



編集発行/令和2年5月25日(年4回)

名古屋文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



施設からの
情報をご
覧いただけ
ます!



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>